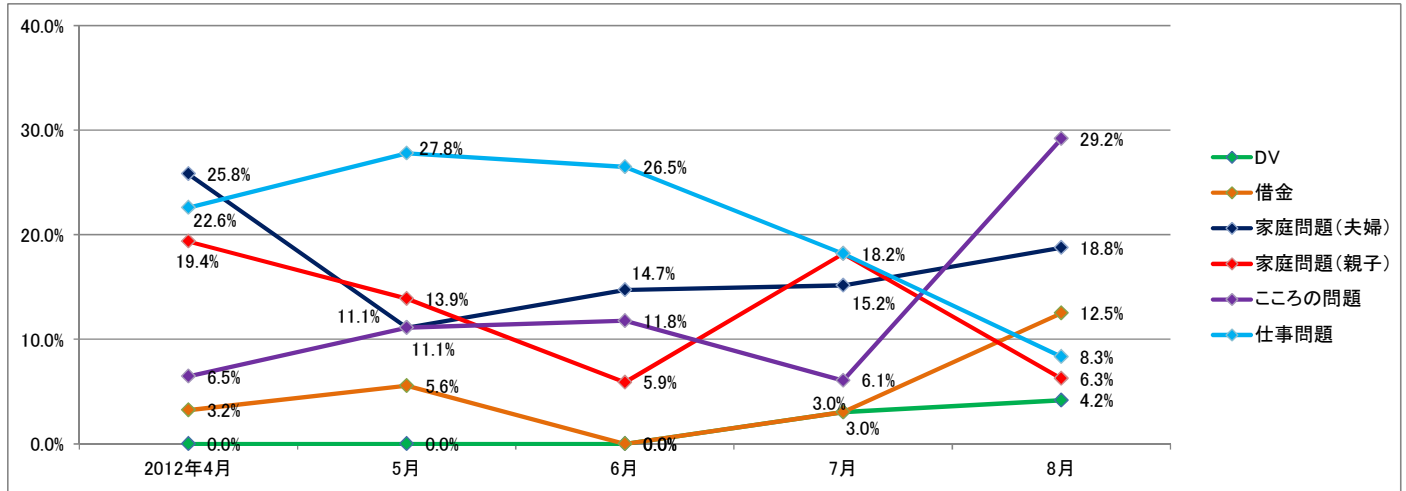


【8月の相談レポート】

8月は本当に暑かったですね。秋はもうすぐです。夏の疲れが出ませんよう、どうぞご自愛ください。
 今月は「男性の悩み」

駆け込み寺に相談してくる男女の割合は、毎月ほぼ一定しており、男性が35%前後、女性が65%前後です。
 下のグラフは2012年4月から8月までの男性の相談内容の推移です。



【グラフ1】2012年4月～8月 男性の相談内容推移（相談項目は抜粋）

※主要な相談項目を抜粋したため合計は100%になりません。

まず、注目したのは「DV」です。男性のDV当事者からの相談はこれまでほとんどありませんでした。ところが、7月と8月は男性からの相談が複数件寄せられました。加害者側の「DVをやめたい」という相談です。「暴力をふるう人間も苦しいんだ。」という言い訳は到底受け入れられません。それでも「DVをやめたい」という強い思いがあるなら、その両手を、大切な人を傷つけるためではなく、大きく包み込むために使ってほしいと願わずにはいられません。駆け込み寺に相談したことを第一歩に、必要であればカウンセリングや診療内科等も最大限に利用して、暴力が介在しないパートナーとの関係を築いてほしいものです。そして、どうしても暴力がやめられなかったら、そのときは潔くパートナーとの関係を解消すべきでしょう。暴力で人を幸せにすることはできません。

8月、男性の相談で3割近くを占めたのが「ころの問題」でした。その理由が多かったのが「夫婦関係がうまくいかない」というもの。「妻が浮気をしているような気がする」「妻の過去を知って気持ちの整理がつかない」「妻が離れていかないか不安」等々。猜疑心、嫉妬心、妄想、そういったものに心が占領されています。中には「夫婦関係はすでに破綻しているのでは？」と思うケースもありました。DVにもいえることですが、圧倒的なコミュニケーション不足を感じます。頭の中で勝手に考えているだけでは、何も変わりませんし、何も知ることはできません。一番近くにいる人が一番遠い存在なんて寂しいですよ。言葉で、表情で、仕草で、愛情を伝えることから始めてみませんか？

悩み事や困り事があったら日本駆け込み寺へ。ご相談は、以下の電話番号からどうぞ。

◆新宿歌舞伎町駆け込み寺：03-5291-5720

◆仙台国分町駆け込み寺：022-395-7740